

岐阜県の中学校の数学の先生！講習会に参加しませんか！



H28年夏、岐阜県において「第98回全国算数・数学教育研究（岐阜）大会」が開催されます。本大会の3日～5日に先立って1日（月）・2日（火）には、「講習会」が行われます。

この講習会は、日本の数学をけん引する著名な先生方が講義をしてくださる貴重な機会です。私たちがこのように先生方のお話をまとまって聞くことができる機会は1年に1回、日数教の全国大会だけです。しかも、今回は岐阜で行われます。せっかくの機会なので数学教育について学びませんか？中学校部会では、下記の6名の先生が2日間にわたって講義をしてくださいます。講習会終了後は、講習修了証がいただけます。

日時 H28年8月1日（月）2日（火）の2日間 9：00受付

場所 じゅうろくプラザ（JR岐阜駅より西に徒歩1分）

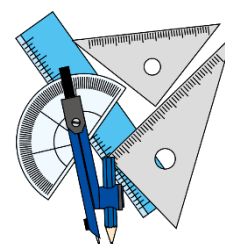
定員 200名 定員になり次第締め切り

会費 一般 4,000円 会員 3,500円

申し込み方法【4月の「第2次案内」配布後から参加者募集開始】

「第98回全国算数・数学教育研究（岐阜）大会」のホームページから

<https://conv.toptour.co.jp/2016/jsme2016gifu>



日	開始時刻	所属・講師名	内 容
8月1日（月）	9:30	静岡大学 松本新一郎	「『資料の活用』の指導の充実を目指して」 中学校数学の統計の授業づくりのために、中学校で指導する内容に関連する統計の理論について具体例を通して学び、統計の授業づくりについて意識しておく点を整理するとともに、実践例を通して指導の充実をめざします。
	12:30	山梨県教育庁義務教育課 清水 宏幸	「かかわりを見いだす活動を重視した数学科の授業づくり ～全国学力・学習状況調査の分析結果をもとに～」 全国学力・学習状況調査の中学校数学の課題となっている問題を分析してみると、生徒が数学における種々の性質等のかかわり（関係性）が理解できていないことが浮かび上がります。この克服に向けて、どのような教材研究を行い、どのように授業づくりにつなげていくかについて受講者とともに考える機会とします。
	14:40	北海道教育大学旭川校 相馬 一彦	「『考えることが楽しい』授業を日常化するために」 授業をつくる上での大きなポイントになる「問題」に焦点を当て、どのような工夫をしたらよいのかについて演習形式で検討します。また、ひとつの学習指導案をもとに、どこをどのように改善したら「考えることが楽しい」授業になるのかを検討します。
8月2日（火）	9:30	東京学芸大学 太田 伸也	「教材研究を通して『数学の方法』について考える」 数学の授業で、生徒は、正負の数、方程式、空間図形、…などの内容の学習とあわせて帰納的に考える、演繹的に説明する、図に表す、表やグラフに表す、数学的モデルをつくる、…などの「数学の方法」を学びます。ここでは、具体的な問題を例に、教材研究を通して、数学の方法とは何か、授業でどのように意識化するかを考えます。
	12:30	国立教育政策研究所 水谷 尚人	「中学校数学科における教育課程の基準等の在り方について」 現行学習指導要領中学校数学科のポイントを確認するとともに、学習指導要領の改訂に係るこれまでの公表資料を基に中学校数学科における教育課程の基準等の在り方について考えます。
	14:40	奈良教育大学 近藤 裕	「子どもが見いだし説明する過程を重視した数学の授業」 具体的な授業事例をもとに、子どもは何を見いだすか、どのように説明するかを紹介しながら、その意義について考えます。また、そうした授業の積み重ねによって育成する能力の一つである「説明する能力」に焦点を当てて議論します。

※ 上記の内容はH27年8月現在のものです。今後変更等があるかもしれません。

※ 大会運営等、さらに詳しいことは第2次案内（H28年4月配布予定）や大会ホームページ（近日公開予定）をご覧ください。